



写真は、八方ヶ岳の山頂で。どうですか、「どんなもんだい」とでもいわんばかりの、誇らかな子どもたちの表情を見てやってください。

八方ヶ岳に登る

子どもたちに、体力負けした話

十九分 田中 繁満

紀行文

八月十三・十四日の盆休みを利用して、登山好き、キャンプ好きな仲間たちと、矢倉谷キャンプ場一泊の八方ヶ岳登山へ。

田中精一隊長に田中教幸リーダーを軸に、森、守田、工藤、中島、中島、盛んなことこの上なし。

矢倉谷谷に到着すると、まず大人は炊事の用意。子どもたちは別れて溪谷の岩すべりへ。小生は、お守りのために子どもたちとともに岩すべり。

勇敢なる、森さんごころの男の子は、「あれよ」という間もあらばこそ、いきなり滑つた下よりすべり出した。水の勢いは早く、

「あつ」という間にスピードを上けてすべり降りてくる。お守りの待望の酒盛り。山の空気に包まれて、珍味をサカナに談笑しながら重なる、ビールや焼酎の乾杯。あつ、谷川の音を聞きながらおかげでこっちはスポンはすぶぬれた。でも、ケガがなくよかった。ボクを見ると、「あー面白かった」と笑っている。これが皮切りで、子どもたちはみんな次々にすべり出す。

中島さんの娘さんも、これに異味がわいたのか、ビニールを尻の下に敷きながらすべり出した。髪が濡れるのもいっしょにかまわず、思い思いの仕草で岩すべりを楽しむ。

今日が今日まで知らなかった者同志のほろの子どもたち、もう仲よしになってしまつて、お互いのからだに手をまわし、笑いながらすべる。五、六人、大人と、すべる、すべる。組合員の子もただけがもつ団結心がのぞかれ、「どうだ」と二人をつかまえてきくと答えた。「きてよかった」。

子どもたちが泳ぎつめたころ大人たちの夕食の用意もでき、楽しい食事だ。子どもたちの食欲はたくましく、ライス・カレーに焼

ほつかりと穴がぼけている岩肌の、大きな岩の上に、さらにこりと乗ったついている奇岩。自然の造形の果てしなく続く中を、子どもたちは驚きの声をあげながら山頂をめざし、元気に登る。

大人たちは大変だ。田中教幸リーダーは、子どもたちに食べさせる西瓜をかついで登る。また、田中精一隊長はサイダーを持ちながら……。

遂に、登山隊の先頭はその日午前十一時二十分山頂に立った。まだ小学二年生の、中島さん、本田さんの娘さんたち、よくがんばった。

田中教幸リーダーは、小生といふ同志の間柄だ。この日ふと、その頭をタオルの鉢巻で締め、がんに登っていき、後ろ姿に、すでに世にない叔父を見たような懐かしさを覚えたことが忘れられない。

楽しい、八方ヶ岳登山だった。

秋の手入れは？

窒素で育て、カリで締め、硫酸で花



園芸

カリは、光合成などで生産された炭水化物の蓄積に、重要な役割をはたしています。不足すると、水分の調節作用が不調となり、水分の蒸発が盛んになり、しおれるようになります。また、寒さや病害虫に弱く、花などもちたします。この肥料の三要素を知っておれば、副食の方はそう気にする必要はありません。

九月は？

九月は、幹を太らせ、また若木は秋に肥培することです。たいいての樹は、春から入梅にかけて元氣よく伸び、芽も、秋の九・十月になるとのびが止まってしまうように見えますが、根は盛んに活動していて、葉も同化作用しています。このとき肥料があれば、吸われた栄養は、芽を伸すより幹を太らせ、根も発育することで樹を丈夫にします。とくに、若木を太らせるには欠かせないもので、す。しかし、老木にはあまり与えないことです。

(田上 勇・記)

右には別に、施肥の適量や要領を表したのもありますが、余剰がありませんでしたから、次号に紹介します。思ひからず。

――編集部



今年、ついでに、ヨダレを垂らしながらをつかすにはいられませぬ。

一月一日、胸ですべて前進前進。大爆発止長崎世界大会の折りのこと。だが最後、即座に口に入ると争の思ひ出が語られました。

早や、生への本能を思わせませ。三十六年前の戦果の中で、銃弾を避けて壕の中に逃げこん

族の仲間入りした孫でした。

何しろ初孫のこと、寒い冬の一月月余りを、「孫、孫」と目のない大人たちをふりまわし、帰っていったのはこの間のよう思われます。

ところが、こんどのお盆に、いそいそと里帰りしてきた娘の胸に抱かれた孫を見ると、丸々と太って見違えるばかりです。

とて、昨今の、自民党の「さういえば、生後もう八カ月。見てみると、目にとまるものはがさじとねらい定めてま

この孫に平和を

主婦

主婦会の皆さん、皆さんの「意見」欄に、どしどし手記をお寄せください。どうぞよろしく。

――編集部

九月の暦

ながつき

- | | | | |
|-----|--|-----|---|
| 1日 | 二百十日。防災の日。この日、遺族、三池大災害の日。関東大震災起る(大正十二年)。 | 8日 | この日、遺族、三池大災害の責任を追及するため、殺人罪で会社幹部を告訴(昭和三十九年)。 |
| 5日 | この日、炭鉱労働者十二万人の首切り合理化計画を発表(昭和三十四年)。 | 9日 | この日、炭鉱労働者、政策転換闘争方針を決定(昭和三十六年)。 |
| 6日 | 炭労臨時大会、この日中労 | 11日 | 二百二十日。この日、日本 |
| 12日 | 十五日。 | 13日 | 世界法の日。 |
| 15日 | 敬老の日。 | 18日 | この日、満州事変発生(昭和六年)。 |
| 19日 | この日、特定休日(三池炭鉱)。 | 20日 | 炭労臨時大会、この日中労 |
| 21日 | 環境衛生週間スタート。 | 23日 | 秋分の日。ピキニで日本漁船、水爆に被災(昭和二十九年)。 |
| 24日 | 結核予防週間スタート。 | 26日 | 彼岸明け。 |
| 27日 | この日、日・独・伊三國同盟設立(昭和十二年)。 | 28日 | この日、三池炭組長計闘争 |



CO守る会の事務局に寄せられた、一つは「ひだかいつべいくん」の作品。

▼写真：三池にまふ婦人集会に参加する、お母さんとおもしろい絵が二つ。

窒素は、植物の生育にとって欠かせないもので、不足すると黄色くなったり、根の発達も悪くなります。

また、多過ぎると軟弱に伸び、病害虫や乾燥、湿害、寒害などに抵抗性が少なくなり、開花、結実がおくれます。

窒素は、硫酸といっしょになって細胞膜のたん白質や酵素をつくり、植物体内のエネルギーの伝達に重要な役割をはたしています。不足すると細胞の増殖が衰え、初期の生育や葉色が悪くなります。

右には別に、施肥の適量や要領を表したのもありますが、余剰がありませんでしたから、次号に紹介します。思ひからず。

――編集部